

第三七卷第四号(一九八四年三月)

論 文

平壤食糧・農業増産討論会に関する

若干の問題について……………井上 周 八

イギリス東芝のノー・ストライキ

協定について……………内 藤 則 邦

発展途上国と国際貿易体制(二・完)……………丹 羽 克 治

研 究 ノ ー ト

オートメーションの段階規定……………名 和 隆 央

——現代資本主義の物質的基礎について——

ヘーゲルの『シュテンデ論』と

F・リスト(下)……………中 西 毅

資 料

立教大学所蔵『グスタフ・シュモラー雑録集』

所収文献目録……………菊 池 壮 蔵

第三八卷第一号(一九八四年七月)

論 文

一九四一年より一九四九年にいたる

アメリカ世界経済におけるドイツと日本

——比較研究のためのひとつの試み——

……………ゲルト・ハルグッハ

鵜 川 馨 訳

マルクス主義の創始と発展(二・完)……………井 上 周 八

Conceptualising the Quality of Working

Life (QWL)—No. IV……………菊 野 一 雄

研 究 ノ ー ト

簿記の任務と勘定理論……………茂 木 虎 雄

——戸田義郎教授の所説によせて——

一九世紀前半オランダ工業の展開……………原 島 正 衛

——オランダ産業革命論形成への一視角——

レオン・フォーシェルの「南欧同盟」構想……………村 田 春 美

——一九世紀前半期フランス関税政策史との
かわり——

研 究 会 報 告